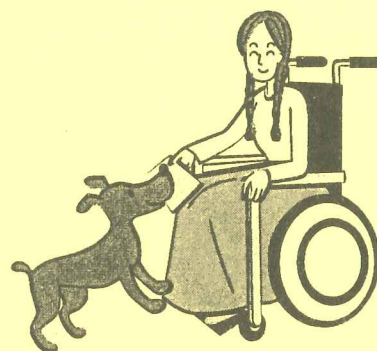


藤崎中央小学校



福祉体験をして感じたこと

藤崎中央小学校

四年

岩澤 い音

一日十日、青森県民福祉プラザ

で福祉体験をしてきました。なぜ

参加しようと思ったかというところ

チャレンジ学習で福祉の勉強をし

ているからです。また、高齢者ぎ

似体験をもう一度やりたかったか

らです。

その日は、朝早く、また天気も

悪くてとても不安でした。そして

時間に間に合い、福祉プラザに無

事到着しました。

ついてまですは、高齢者ぎ似体験

をしました。私は、千軍さんと二

人で活動しました。初めに私はヤ

ホート係で千軍さんの手助けをし

ました。着る時に、春よりもくわ

しく教えてくださいました。つえ

の長さを調節できるということが

わかりました。そしていよいよ体

験です。まずは、階段を下りる級

習をしました。一歩ずつ手すりと

つえを使って下りることができた

ようです。その時私は、「ゆっく

り」「気を付けてね」と声をかけ

て、せ中を支えるようにして下り

ていきました。

次は、自動はん売機でジュース

を、買う練習をしました。お金を出す時、とてもむずかしそうでした。手がつるつるするるので取り出す手伝いをしてあげたので、取ることになりました。そして好きなジュースのボタンを押して、とることができました。

二回目は私が体験しました。着るのは一回目に比べてはやくできました。そして私も体験しました。やったのはほとんど千隼さんと同じでした。か、いすにすわって、薬を入れた。手がつるつるする。て玉を入れた。ことができませんでした。で

もサポートしてくれました。最後まで入れることができました。

次にモデルルームを見学しました。このモデルルームは、高齢者の方がくらしやすい道場がたくやんありました。玄関には、スロープがありました。スロープは幅が広くて車いすでも通れるようになっています。戸も下に段差がなく、て上にはレールがつながって、います。た。ですから、車いすが通っても、か、タニ、といかないような仕組みになりました。階段も二つ比べられるのがありました。一つは、幅が低くて広い階段です。二

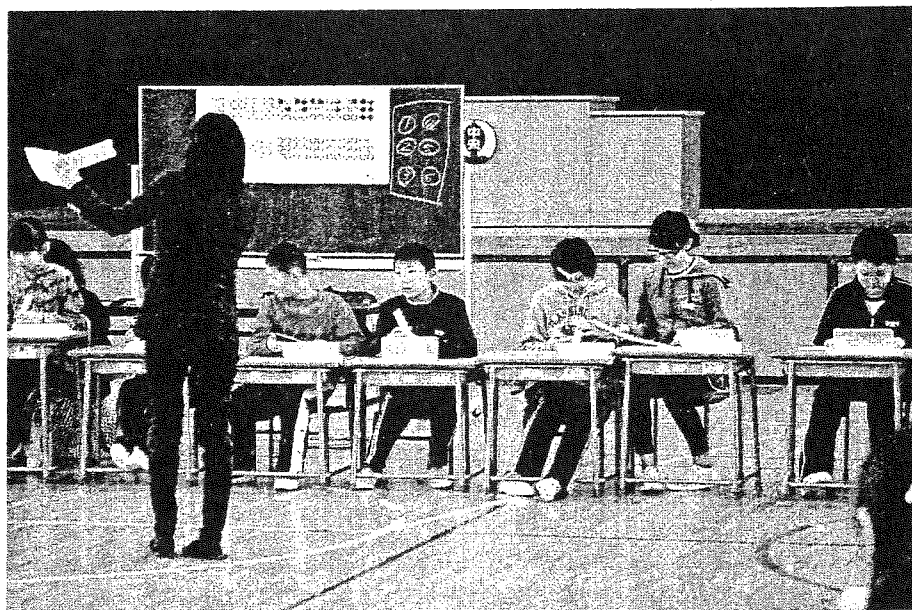
つ目は、幅が高く、せまい階段がありました。この二つを何度也比べてみました。幅が低くて広い階段が歩きやすかったです。

また、和室で使う車いすがありました。上げ下げして、高さを調節できる、しょうこう式キツナというキツチもありました。車いすの人だけではなく、小さい子供、どんな人でも使えるので便利だと思いました。お風呂でも体をあまり使わずに、ボタニを押すだけで機械が洗ってくれるものが何台かありました。つえの種菜もすべらないようにすべり止めがついてい

るのがありました。その他にも高齢者の方のために必要な道具がそろえられていました。

この体験をして、高齢者の方の不自由を少しでも楽にできるように、な仕組みが、モデルルームの道具の中にたくさんありました。また、ふたん私達がくらしている中にも工夫がされていることがわかりました。例えば、車いすの人がヒビくようにエレベーターのボタンが低くなっています。お店などでよくスロープがみられます。その他にも身のまわりにいろいろいな工夫があると思います。私はチ

ヤレニゾ学習で、もう終わりのだ
 んかいになっ、ていまずが、福祉体
 験やモデルルームの見学をしてわ
 か、たことを思い出しなが、うくわ
 しくま、とめていき、たいと思、いま
 この福祉体験は、高齢者の方が
 不自由を持、て、いても私達とみん
 な一、緒にな、てこの藤崎町を守、
 ていくた、めに行、われたと思、いま
 私もみんな一、緒に笑顔あふれる藤
 崎町であ、れば、いいな、あ、と思、いま
 また、高齢者の方の不自由を、樂に
 するた、め、私もお手伝、い、できるこ
 とがあ、たら、ど、ん、ど、ん、手、伝、い、た、い
 です。



福祉体験

藤崎中央小学校

四年

中田

紗佳

一月十日、福祉体験に行ってきた。

福祉について調べていて、福祉体験

にいかば、何か役に立つかと思

て参加しました。

最初は、喜び体験でした。老人

の体の不自由さを体験するもので

す。こしが曲がって、手や足にお

もりがついているので、とてもつ

らかったです。この時、つえは大

切だほと感じました。なぜならつ

えは、体をささえる物で、フエに

体重をかけると、歩きやすくなる

からです。だから、お年よりは、

このつえを使って、ふたん床く時

に使うているんだなと思いました。

次に、さいふを持って、自動は

ん売機の所に行きました。お金を

さいふから取る時、目が見えづら

く、どのお金かわかりませんでした。

また、手も動きがらくて、さ

いふの中から、なかなか取ること

かできませんでした。お年よりは

自動はん売機で、買う時にも、あ

たしたちよりも、すごく買いがら

いと言うことかわかりました。

最後に、階段を登りました。

足が曲がりづらくて、登るのに、
 時間がかかっ。て一たん一たん登
 ていくのが大変でした。このこと
 から、お年よりにと、て階たん
 を、登る時は、思っ。ていた以上に
 つかれるんだと思ひました。これ
 で、ざじ体験が終わりました。
 福祉体験の二つ目は、お年より
 かくらしがすい、展示室に行つて
 便利な機械などを見学しに行きま
 した。
 私が一番便利だと思つたのは、
 上下に動くキツ、チンです。このキ
 ツ、チンは、ホダンをおすと、上下
 に動いて、高さを調整できます。

これで、車いすの人をえ、お年よ
 リの方でも、使いづらかつたキツ
 チンが、自分に合つた高さになる
 ので、一人で料理ができるように
 なります。実際、ホダンをおすと
 スーつと、簡単に上がつたり、下
 がつたりしたので、使いやすいと
 思ひました。
 福祉体験の三つ目は、お年より
 用の道具を見に行きました。たく
 さんの道具が置かれていました。
 ふつうのイスに見えますが、座る
 所を開けると、そこにはなんと、
 トイレの便器がありました。この
 イスだつたら、トイレまで行くの

に時間がかからないので、足の不
 自由な人にと。では、とても便利
 だと思えます。これを作った人は
 すごいなと思いました。
 私は、この体験で世の中は、ど
 んどんお年よりがくらしやすい生
 活になっ、てきていると思いました
 お年よりが困っていることを少し
 おづ便利に変えていく研究をだえ
 かが、行っているのだと思えます
 わたしの母は、福祉施設で働い
 ています。母の祖父が亡くなっ、た
 時、自分も何かお年よりのために
 力をつくしたいと思っ、たそうです
 わたしも、お年よりのために何か

できることを見つけて、それを実
 行していきたいと思えます。あた
 しも、お年よりになっ、た時今以上
 にお年よりにやさしい世の中で、
 あっ、てほしいと思っ、ました。



の	も	し	を	一	た	し	ま	し	た		こ	の
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	---	---

[illegible]

が広くて、車いすでもかんたんに
家の中に入るこゝでできました。
けんかんのたんさは、車いすをお
りないで上るのボタンを押すと車
いすが上つて、けんかから家の
中に入るこゝでできます。他にも
戸のレールが上にあつて、車いすか
ボタンとなつたりしないうも
ありました。かいなんは、はばが
ひろくて、二かいへ行く時は、い
すにすわつてボタンをおすと上に
行くきのうもありました。
最後に、おじいちゃん、おばあ
ちゃんが使つた道具を見ました。下
からすくつては、さんで食べやすい

スプーンやくつ下をはく時、手が
とどかないうのでくつ下に三角のこ
もがついてゐるものをくつ下につ
けて、ひもをひっぱてみるとはく
こゝでできるのを見ました。わた
したちは、その道具を使つてみま
した。それらの道具は、わたした
ちでも使つたりと思ひました。
この福祉体験は、冬休み前に先
生から教えてもらつて、おもしろ
そうだから参加しました。友だち
をさそつて行きました。体験して
みてとても広くてたくさん便利
なものがあつて、すごいなあと思
ひました。おじいちゃん、おばあ

あ	ち	や	ん	か	し	で	も	楽	に	生	活	す	る
た	め	の	工	夫	が	た	く	さ	ん	あ	っ	て	参
し	て	よ	か	っ	た	な	あ	と	思	い	ま	し	た
わ	た	し	た	ち	も	お	い	い	や	ん	や	あ	
は	あ	ち	ん	も	ナ	ン	な	が	く	ら	し	や	す
い	せ	の	中	に	な	っ	て	い	く	こ	と	が	で
れ	ば	い	い	な	あ	と	思	い	ま	す	。		



点字たいけん

藤崎中央小学校

四年

工藤

聖夢音

わたしたちは、

4

チャレンジ学習

を福祉について調べ学習をしています。

わたしは、テーマを「点字

にしました。なぜなら点字は、目

が不自由な人にとっても役立つもの

だとわがっているのですが、どん

なものなのかわからないので調べ

てみたいと思いました。

わたしたちのグループは、点字

の歴史や生活の中にある点字や点

字の表し方などを調べています。

わたしは、点字の歴史を調べまし

た。点字は、フランスのルイブラ

イユという人が作ったことがわか

りました。いろいろ調べていくう

ちに、わたしたちの身の回りにも

点字は、け。こうあることがわか

りました。トイレや洗たく機など

にありました。点字の読み方も調

べて、読んでみました。言葉全部

でなくて、短く書かれていること

がわかりました。

みんな点字について調べてい

た時、学校でホラニティア集会所

が行われました。ホラニティア集

所とは、学校で取り組んでいるボラ

ンティア活動、赤い羽根共同募金

の報告など全校でボランティアに
ついて勉強することです。ほかに
も今年はいもうとう犬と点字たい
けんもあります。わたしは、クラ
スの代表で点字たいけんをするこ
とになりました。もうとう犬のキ
ヤティと佐藤さんが体育館で歩く
のを見せてくれました。人が近く
にいてもほえないのです。すごいなあ
と思いました。ひとなつ、こい性
かくなのかなと思います。

次は、点字たいけんでした。こ
うしの先生が、点字の本を見せて
くれました。点字の打ち方を教えて
くれました。点字板と点字

紙を使いました。点字板は、あな
がたくさんあって、点の数や場所
で文字になります。打ってみると
プチッという感覚がありました。
初めて打ててうれしかったです。
みんなながよくと打ちましたが、
たくさん点を打たなければならな
いと思いました。

わたしは、チャレンジ学習で点
字をテーマに調べ学習をしていて
たくさん知ることがわかりました。
そして、点字たいけんをしてみて
点字を打つことはたいへんだけれど
目の不自由な人のためには、必
ずうなこどだというのがよくわか

